

Let's

エコドライブ

地球と家計にやさしいカーライフ

わたしたちの生活に不可欠な自動車。今では買い物や通勤、旅行などに欠かせません。しかし、自動車の利用は、燃料に使われるガソリンの燃焼を伴い、地球温暖化の原因となるCO₂（二酸化炭素）の排出量を増やしています。自動車からのCO₂の排出量を減らすためには、ドライバー一人ひとりのCO₂を減らす努力が必要です。今回は、ガソリンを無駄に使わず、CO₂を少なくする地球と家計にやさしい「エコドライブ」のテクニックを紹介します。

一人ひとりの努力が大切な エコドライブ

CO₂の排出は、地球温暖化の要因の一つです。わが国全体のCO₂発生量のうち、自動車からの排出量は19%を占めていて、なおも増加傾向にあります。自動車からのCO₂排出量を少なくするためには、近くの買い物や通勤には車を使わず自転車や徒歩で行くなど、家用車の利用をできるだけ減らしていくことが大事です。また、車を運転する際には、ガソリン代を軽減するためにも、燃料を無駄に使わない運転の仕方を工夫することが大切です。

走行前 4つのポイント

ポイント1 必要のない荷物を降ろす

トランクなどに必要のない荷物を積んだまま運転すると、車の重量が増え燃費が悪くなります。

例えば、ゴルフバック1個（約10キログラム）を載せて1000キロを走行した場合、約21ccのガソリンを消費します。ゴルフバックを降ろすと、1年間で約7・7リットルのガソリン（約924円）を節約できます。運ぶ必要のない荷物は車から降ろしましょう。

ポイント2 確実な点検・整備を実施する

タイヤの空気圧が低下していたり、エア・クリーナー・エレメント

が詰まっていたりすると、燃費が悪くなります。空気圧が適正値よりおよそ4分の1下がったタイヤで100キロ走行した場合、約240ccの燃料を浪費します。それを適正な空気圧に調整すると、1年（1万キロ）で24リットル（約2880円）のガソリンが節約できるのです。

また、タイヤの摩耗を減らし、長持ちさせるためにも、定期的なタイヤの空気圧の点検やエア・クリーナー・エレメントの整備をしましょう。

ポイント3 無用な空ぶかしをしない

無負荷の状態ではエンジンの回転数を上げる空ぶかしは、燃費を悪くするだけでなく、騒音の原因に

もなります。

10回の空ぶかしで約60ccの燃料を浪費します。無用な空ぶかしはやめましょう。

ポイント4 計画的なドライブをする

道に迷って10分以上余計に走行すると、約350ccのガソリンが浪費されます。

初めての場所などは一度迷うと元の場所に戻るまで、30分、1時間とかかるもの。さらに、交通渋滞に巻き込まれると大変なことになります。

これから秋の行楽シーズンを迎えます。お出掛けの前には、行き先や走行ルートをあらかじめ決め、計画的なドライブをしましょう。

